

2階実験室ゴミ分別早見表

とっとりバイオフィロンティア 2023.8.31

当施設内より出されるゴミ(廃棄物)は、以下のように分類・分別をして所定の場所へ出してください。ウイルスや細菌の不活化については、[「とっとりバイオフィロンティア微生物実験安全マニュアル」](#)[「とっとりバイオフィロンティアウイルスベクター取扱い安全マニュアル」](#)もご参照ください。ご不明な点は管理室にお問い合わせください。

ゴミの内容	廃棄場所
燃やせるごみ (※細胞や微生物等の付着していないもの)	「可燃ごみ」入れへ。
実験室から出たごみ。オートクレーブ済のピペット・ディッシュ等 (※細胞や微生物等の付着していないもの)	「不燃ごみ」入れへ。
細胞等が付着したピペット・ディッシュ等	「要滅菌廃棄物」入れへ。 (バイオフィロンティアスタッフが定期的に回収し、滅菌処理をします)
微生物等が付着したチップ・ディッシュ等	液体を除去して、 実験者自身が不活化処理 。 その後、適切に分別廃棄。 ※ただし、バイオハザードマーク付きのものを袋ごと捨てる場合は、「感染性廃棄物(段ボール)」へ入れてください。実験系不燃ごみや可燃ごみとしては収集できません。
微生物等を含む廃液	実験者自身が不活化処理 。その後、流しへ廃棄。 ※ハロゲンを含有するものは、不活化処理後に、「ハロゲン廃液」タンクに回収。
血液等が付着しているもの (注射針やガラスなど先が鋭利なものを除く)	「感染性廃棄物(段ボール)」入れへ。
血液等の付着しているもので、注射針やガラスなど先が鋭利なもの	「感染性廃棄物(ペール缶)」入れへ。
血液等から抽出したサンプルの付着したセルアナライザ分析に使用したチューブ等	「セルアナライザ専用廃棄物」入れへ。
空の試薬瓶等 ※ガロン瓶・500ml以上のガラス瓶を廃棄される場合は推進室にお問い合わせください。(ラベルはできるだけ剥がして下さい。瓶は洗浄し、廃液は廃液タンク等に分別して廃棄下さい。)	「ガラスくず」入れへ。 ※割れたガラス等は「感染性廃棄物(ペール缶)」へ入れて下さい。
泳動などに使用したエチジウムブロマイド廃液	「エチジウムブロマイド廃液」タンクへ。 (場所:遺伝子実験室奥の流し下)
ハロゲン・フェノール含有廃液	「ハロゲン廃液」タンクへ。
可燃性廃液	「有機廃液(可燃性廃液)」タンクへ。
難燃性廃液	「有機廃液(難燃性廃液)」タンクへ。

～ご協力お願いいたします～

【よくある質問】

ご質問	回答
Q. ごみ箱(要滅菌廃棄物用)がいっぱいです。どうしたらいいでしょうか。 	A. 基本的には推進室スタッフが廃棄物の回収をさせていただきますが、短期間に廃棄物が多く発生する場合は、予備のゴミ袋(オートクレープ用廃棄バッグ)を、実験室内の作業用台車に設置しておりますので、以下のようにお願いします。 1. ゴミ箱からバッグごと廃棄物を取り出し、ワイヤータイ(バッグと一緒に設置しています。)で留めてください。 2. 留めたゴミ袋は、実験室のゴミ箱付近に固めて置いておいてください。 3. 新しいオートクレープ用廃棄バッグをゴミ箱に取り付けてください。 なお、ピペット(高さのあるもの)とそれ以外のゴミに分けていただけると、オートクレープ処理をする際に効率がよく、大変助かります。
Q. 一度に大量に作業をするのでゴミ箱(要滅菌廃棄物用)が小さいです。もっと大きいものにできませんか。	A. 回収後に処理をするオートクレープの容量に合わせたサイズのバッグを設置させていただいておりますのでご了承ください。
Q.死菌を含むサンプルについてはどういう扱いになりますか？	A.十分な不活化等が行われ、生菌が含まれないことが明らかなサンプルであれば、細胞実験室や機器分析室でもご使用いただけます。判断が難しい場合は管理室にご相談ください。

(安全キャビネット・クリーンベンチ付属の)アスピレーター廃液の処理について

Q. 廃液がいっぱいになりそうです。どうしたらいいでしょうか。 	A. 実験室内に廃液回収用タンクを設置しております。 1. チューブ内を消毒用エタノールで洗浄する。 (ポンプを動かしながら消毒用アルコールのスプレーボトルをチューブ内に噴霧し、洗浄) 2. フタを外し、廃液瓶の中の廃液を回収用タンクに移します。 3. 水道水で 1～2回瓶の中を洗浄し、廃液を回収用タンクに移します。※廃液が垂れないように、瓶の口をペーパー等で拭いてください。 4. フタを元に戻して、使用してください。 ※少量の液体を続けてアスピレートする場合、泡が発生しやすくなり、フィルターのかまりの原因となる場合がありますのでご注意ください。
--	---